

創造・参加・実践  
No.626

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



ダイレクトニュース(メール)



JR西労組 LINE



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL:06-6375-9869代 JR071-7155(代)

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 荻山 市朗

編集責任者 宮野 勇馬

# 第21回医療システムユースフォーラム 大阪鉄道病院・JR広島病院

## 名古屋セントラル病院・ JR九州病院からも参加

中央本部青年女性委員会は、3月10日(日)、新大阪丸ビルにおいて「第21回医療システムユースフォーラム」を開催した。大阪鉄道病院とJR広島病院で働く青年女性組合員に加え、JR連合の仲間である名古屋セントラル病院とJR九州病院からも参加があり、総勢41名での開催となった。

冒頭、新倉青年女性委員長は、働き方改革関連法が成立し、長時間労働の削減や年休5日の取得義務など、私たちの働き方が大きく変化するなかで、労使協議の必要性について、広島鉄道病院が医療法人化される際、JR西労組が行った対応を例に出して、わかりやすく訴えた。



41名が集まった医療システムユースフォーラム

また、来賓として出席した中央本部の宮野政策・調査部長(青女担当)は、「今回行った『賃金実態調査』により、医療職場では何らかのハラスメントを受けた経験があるとの回答率が、他の系統に比べて高い傾向にある一方で、組合役員への相談件数は少ないことがわかった。組合



ディスカッションでは様々なアイデアが生まれた



アイスブレイクで雰囲気づくりを行った

役員として、世話役活動の充実に向け、中央本部も連携して取り組んでいく」旨

の挨拶を述べた。

第一部では、JR西労組が顧問契約を結んでいる、FPコンサルティングの塩見部長をお招きし、「結婚・出産・育児に備える」と題し、20代向けのファイナンシャルセミナーを実施した。JR

西日本、共済会、JR健保の制度などを利用することで、上手に貯蓄することができるとを学んだ。参加者は、めったに聞くことのできないおカネの話に、熱心にメモを取り、耳を傾けていた。第二部では、「みんなが楽

しめる青女活動にするためには」をテーマに、組合役員や、参加者としての一般組合員の立場からディスカッションを実施した。「参加者への声掛けの時期が遅い」「組合役員が誰かわからない」といった課題の把握ができたほか、

最後に鶴石事務長から、東海ユニオンや九州病院との繋がりができるのは労働組合だからこそであり、青女活動を通じて多くの仲間づくりをしてほしいと挨拶を述べ、閉会した。

(中央本部青女発)

### 交通事故による死亡労災発生

3月20日午前2時頃、山陰本線 伯耆大山・東山公園駅間の春日踏切付近において、交通誘導員が自動車にはねられ死亡する重大労災が発生した。

受傷者は、点滅ベストや誘導棒を使用しており、事故の原因については現在調査中である。

今回の死亡労災は、昨年8月に発生した下関総合車両所運用検修センターにおける協力会社作業員の墜落死亡労災、9月に発生した東海道本線栗東～草津間における感電死亡労災、2月に発生した加太駅構内における死亡労災に続く4件目の労災死亡事故である。痛ましい事故が連続して発生している現状を厳粛かつ深刻に受け止めなければならない。

真摯な労使協議を通じて策定された「JR西日本グループ鉄道安全考助計画2022」が昨年4月からスタートし、全ての組合員は安全最優先で日々の業務に従事しているものの、昨年度以降、JR西日本グループによる労働災害は増加する危険な傾向にある。

自らの命、仲間の命を守るために、いかなる理由があっても、ルールや基本動作を徹底することが欠かせない。JR西労組として、現場でルールや基本動作が守られずに死亡労災や危険な事象が発生している原因や背景に踏み込んで検証し、労使で議論を徹底して職場からの安全の確立、事故の再発防止に全力をあげることにする。

働く仲間が、自らの安全確保はもとより、お互いの作業安全に気を付け合うなど、立場を超えて連携を深め、尊い命を失う悲劇を絶対に繰り返さないために、安全最優先で業務にあたってください。重ねてお願いする。

### 事故現場において献花行動

### 福知山線列車事故からまもなく14年

福知山線列車事故が発生してから、2019年4月25日で14年が経過する。本年の追悼慰霊式は、「祈りの杜」として整備された事故現場において、はじめて行われる。



「祈りの杜」に献花行動を行う役員及び職員

事故現場では、3月26日から4月23日、また、5月1日から5月中旬にかけて、設置工事が行われるため、設置工事前の3月15日に献花行動を行った。



消防隊員触車事故現場にも献花を行った

事故車両が衝突したマシソン及び周辺には、今も生々しい傷跡が残されており、事故の凄まじさを改めて感じた。事故で無念にも尊い命を失わ



2002年の事故を今に伝える慰霊碑

れた107名の御霊に、ご冥福をお祈りするとともに、お身体や心に大きな傷を負われ、今なお苦しんでおられる皆様の、一日も早いご快癒を、心よりお祈り申し上げます。

また、当日は、2002年11月6日に塚本一尾崎駅間で巻き起こした、消防隊員触車事故現場にも献花行動を行った。あらためて事故でお亡くなりになられた消防隊員の、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族様や負傷された隊員に心からお詫び申し上げます。今年に入ってから、重大労災が連続して発生している。JR西労組は、安全確立に向けた警鐘を鳴らし続けるとともに、引き続きすべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロに向けて取り組んでいく。